

2012 年度 設備投資計画 ～鉄道事業を中心に総額 13,838 百万円～

<主な投資項目>

- ① 瀬戸線専用通勤型車両 4000 系・計 24 両の新造
- ② 旅客安全・運転保安工事の推進

名古屋鉄道では、「名鉄グループ中期経営計画 ～PLAN120～」(2012 年度～2014 年度)に基づき、同計画の重点テーマである「グループの核である交通事業の強化」などの実現に向け、2012 年度の設備投資計画をまとめました。

来年度の主な投資として、瀬戸線の車両更新を引き続き進めるため、同線専用の通勤型車両 4000 系車両を 24 両(4 両組成×6 編成)新造します。

また、例年に引き続き、ATS などの安全設備の新設や更新、車両・土木・電気施設の改良、高架化の推進など、安全対策の更なる充実を図る投資を積極的に推進していきます。

来年度の設備投資額は、太田川駅付近の高架切替完了により高架化関係の投資は一段落しますが、車両更新や旅客安全・運転保安に関わる投資を積極的に推進する予定で、全体では今年度比プラス 4%程度の 13,838 百万円となります。

事業別設備投資計画額の対前年比較は以下のとおりです。

事業別設備投資計画額内訳		(金額単位 百万円、税抜き、単位未満切捨て)			
事業	2012 年度	2011 年度	前年との差額	増減率	(参考)2010 年度
鉄道事業	9,499	8,994	505	5.6%	12,931
開発事業	4,008	3,935	72	1.8%	1,654
その他	330	334	▲3	▲1.2%	58
総額	13,838	13,265	573	4.3%	14,645

鉄道事業 [9,499百万円]

鉄道事業では、①通勤型車両(計24両)の新造に3,111百万円、②ICカード「manaca」の全国相互利用に向けた駅務機器の改修や自動改札機のmanaca対応化など、サービス改善工事に856百万円、③鉄道高架化の推進、踏切保安設備や土木・電気設備の改良など旅客安全・運転保安工事に5,532百万円の計9,499百万円を投資します。

1 車両の新造(3,111百万円)

- 瀬戸線の車両更新を進めるため、同線専用の通勤型車両4000系を24両(4両組成×6編成)新造します。



4000系

2 サービス改善工事(856百万円)

- (1) ICカード「manaca」の全国相互利用に向けた駅務機器及びシステム等の改修
 - 2013年春に実施予定の、東日本旅客鉄道株式会社の「Suica」との乗車券機能及び電子マネー機能の相互利用のほか、全国の交通系ICカードとの相互利用に対応するため、関連する機器やシステム等の改修を実施します。
- (2) 自動改札機のmanaca対応化
 - お客さまの利便性向上のため、名鉄名古屋駅、大曽根駅、前後駅、津島駅など8駅のmanaca非対応の自動改札機(8台)で、manacaをご利用いただけるよう改良します。

3 旅客安全・運転保安工事(5,532百万円)

- (1) 安全・保安対策
 - 踏切対策用のATSを瀬戸線・三河線・西尾線の19駅に設置するほか、転てつ器の通過速度超過防止用ATSを知多半田駅、河和駅の2駅に設置します。また、ホーム転落対策として、列車の乗務員に異常を知らせる列車非常通報装置を清水駅、尼ヶ坂駅、森下駅など9駅に設置します。
- (2) 踏切道保安設備の新設・改良
 - 踏切道の保安対策として、踏切障害物検知装置(5カ所)及び踏切遮断機(37台)の更新並びに踏切道の非常ボタン(24カ所)の設置などを行います。

(3) 車両の改良

- 100系2編成の制御装置をVVVF化し回生ブレーキを導入することで消費電力を削減するほか、ATC(自動列車制御装置)を更新して保安度の向上を図ります。
- 運転士が運転操作不能になった場合に列車を自動的に停止させる運転士異常時列車停止装置を28両に設置します。
- 運転状況を記録する運転状況記録装置を28両に設置します。
- ホームから車両連結部への転落防止を図るため、固定連結部の車体側面に連結面転落防止幌を30連結面に設置します。

(4) 土木施設の改良

- 列車の乗り心地を向上するため、まくらぎのPC化(瀬戸線・西尾線の延べ約1.9km)及び分岐器の弾性化(4ヶ所)を実施します。
- 列車走行音や振動を軽減するため、ロングレール化工事を名古屋本線 男川駅～美合駅間の延べ約0.5kmで実施します。

(5) 電気施設の改良

- 安定した電力供給を図るため、枇杷島変電所の改良工事をはじめ、沿線各所で変成機器や高圧遮断器など電力設備の更新、き電線の増強・改良などを実施します。
- 保安度の向上を図るため、転てつ器と信号機の動作を制御する連動装置や列車無線基地局の改良・更新などを実施します。

(6) 高架化

- 安全対策の推進と都市計画事業の一環として、4カ所で高架化工事を実施します。

	路線名	区間	距離
知立駅付近 高架化工事	名古屋本線	一ツ木駅～牛田駅間	1.6km
	三河線	重原駅～三河八橋駅間	2.7km
喜多山駅付近 高架化工事	瀬戸線	小幡駅～大森・金城学院前駅間	1.9km
青山駅付近 高架化工事	河和線	成岩駅～上ゲ駅間	1.3km
布袋駅付近 高架化工事	犬山線	石仏駅～江南駅間	1.8km

開発事業 [4,008 百万円]

- 名古屋駅前において、中部経済新聞社などとの共同事業である「名古屋クロスコートタワー」の建設工事を進めます。同ビルは、鉄骨及び鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリート造地下 2 階地上 17 階建て、延床面積約 30,100 m²のオフィスビルで、2012 年 7 月の供用開始予定です。



名古屋クロスコートタワー

- 神宮前駅東口において、安定的な列車運行と事故・災害時対応力の更なる向上のため、鉄道センタービルの建設工事を進めます。同棟は、事務棟と合宿棟の 2 棟からなり、事務棟は、鉄骨造地上 7 階建て、延床面積約 7,300 m²、合宿棟は、鉄筋コンクリート造地上 6 階建て、延床面積約 2,100 m²となります。2012 年 4 月末の竣工を予定しています。



鉄道センタービル

その他 [330 百万円]

- 座席指定サーバの更新や、業務システムの改修を進めるなど、IT環境の改善を図ります。

※ 名古屋鉄道を含む 2012 年度の名鉄グループ設備投資額は、31,503 百万円。

以 上